

バイセン株式会社

- 所在地: 神戸市中央区港島南町1-5-6 神戸大学インキュベーションセンター401
- 代表者: 千田 廉
- 資本金: 7,992万円
- 従業員: 7名
- URL: <http://www.bycen.co.jp/>



企業概要

神戸市の医療産業都市構想の進むポートアイランドに立地する「神戸大学インキュベーションセンター」には、多くの産学連携研究に基づくベンチャー企業が入居しています。バイセン株式会社は、代表取締役社長の千田氏が、神戸大学よりスピンアウトした大学発ベンチャー企業で、今期で6期目を迎えました。現在では神戸の本社の他に、東京にも事務所を有しています。

神戸大学農学部で脳と行動の関係を研究していた千田社長は研究の末、行動を数値化・定量化する装置を開発。これを広く世の中に役立てたいという思いから、起業に至りました。中でも行動定量化ツール「レグログ」は同社を代表する商品です。

レグログは人間や動物の身体に装着し、行動をわかりやすくリアルタイムにグラフへ映し出すことが可能な無線型加速度センサシステムで、病院のリハビリの現場等に多く使われており、軽くて小さく、誰もが簡単に装着できます。リハビリに励む患者さんにとっては、自身の歩行が可視化されることで、自らの歩行をどう正せばよいのかわかりやすくなるため、モチベーションの向上にも繋がっています。



▲千田 廉 代表取締役社長

Q.海外展開のきっかけは？

平成20年度には、無線加速度センサを活用した健康管理の実証実験が、経済産業省の「情報大航海プロジェクト」に採択されました。当事業は、九州大学をはじめ、数社の企業とコンソーシアムを組み、共同で行った事業です。これまで、運動量データを計測できる機器としては万歩計ぐらいしかありませんでしたが、当社の「行動計」を活用することで、生活習慣の行動データの計測が可能になりました。例えば、装着した人が今立っているのか、横になっているのか、歩いているのか等がグラフを解析することで分かります。そのため、装着している人に対して、リアルタイムな行動アドバイスができます。

今年の3月には、カナダのアルバータ州政府を通じて、アルバータ大学の、某スピンアウトベンチャー企業からコンタクトがありました。カナダのアルバータ州では、人口に対する糖尿病患者の割合が年々高まっており、州政府をあげて糖尿病対策に取り組んでいるところです。そこで、当社の「行動計」を利用すれば、センサーにより装着者の行動を定量化し、カナダで広く普及しているiPhoneやブルートゥース機能を活用し、情報をリアルタイムで医療機関に送信できるようになります。

カナダ企業との提携により、当社としても自社製品の北米販路開拓が可能となる点に、大きなメリットを感じています。また、カナダ企業の製品を当社が日本国内で販売できる点もメリットです。

Q.今後の事業展開について教えてください

本年の9月には、カナダ大使館において業務提携調印式を行いました。当社にとって海外企業との提携は初めてであり、本格的に海外市場でのチャレンジが始まりました。今後の計画としては、カナダ人の行動の特性に関するデータを共同で収集し、来年3月を目処にソフトウェアを完成させる予定で、来年9月にはカナダでの市販を行う予定です。

また、その他の外国企業から販売代理店契約の話もありました。このような提携を活用し、積極的に海外市場開拓を行っていきたいと考えています。

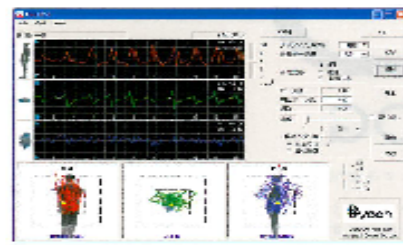
今後の事業展開としては、「レグログ」のセンサーの大きさを、現在の1/10程度に小型化するのに取り組む予定です。小型化する事で、動物への装着が更に容易になるため、家畜の行動解析も可能になることで、発情期の時期が特定できるようになり、農家へも貢献ができると考えています。また、BSE(牛海綿状脳症)牛の水際対策としても、同製品は有効であると考えられるので、この方面においても、国内外を問わず販路を開拓していきたいですね。



▲無線通信体重計でデータが即時にPCIに



▲「レグログ」は小さく誰にでも装着しやすい



▲モニターでリアルタイムに確認可能